監修・解題—末永 恵子

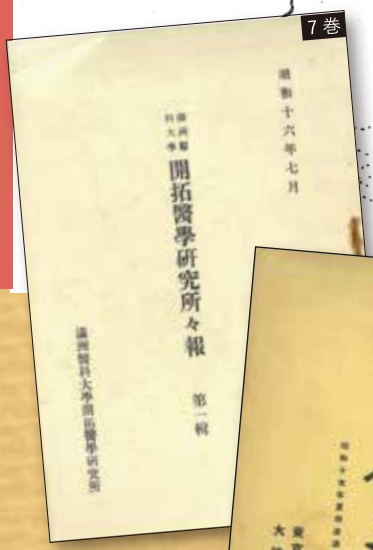
外地「いのち」の資料集(七)

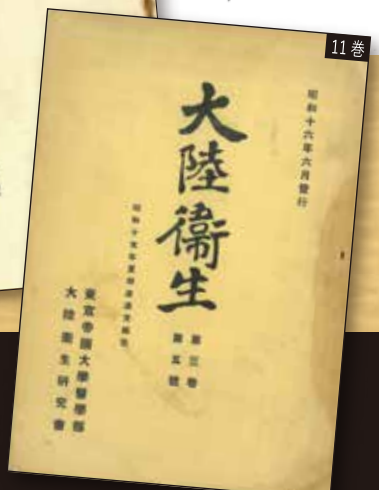
—満洲医科大学2

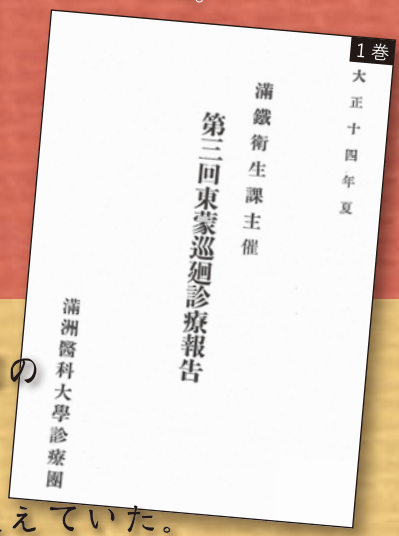
附.東京帝大大陸衛生研究会

【全十一・別冊】
(編集復刻版)

満洲医大の医学研究や巡回診療に関する資料は、医大が満洲の植民地経営、柳条湖事件後の治安維持、開拓移民政策を医学・医療面から支えていたことを物語る。いっぽうで、現地の患者の苦痛を和らげるべく治療し、未知の地方病研究の究明に挑戦する、そうした「いのち」へ向き合う医学・医学の姿も確かに満洲にはあった。







満洲医大は、関東軍、満洲国の諸行政機関、拓務省、満鉄、文部省などと連携し、戦争と満蒙開拓移民を医療面より支えていた。

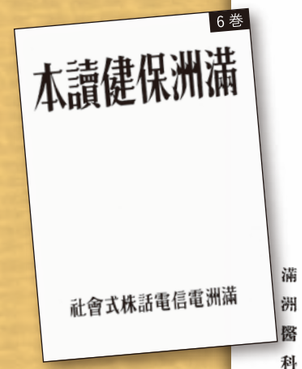
金沢文圃閣

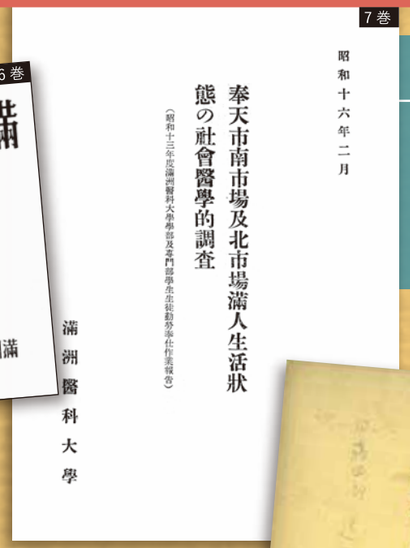
（七）「満洲医科大学2」附.東京帝大大陸衛生研究会

満洲の医学における研究動員の実情を伝えるこれらの資料は、戦争と大学との関係を捉えるための新たな巡廻診療班（団）を現在の内モンゴル、中国東北部、中国華北に派遣し、医学調査と住民への無料診療とを行って、「満蒙の文化的開発」の理念を掲げた巡廻診療。実は満鉄の権益を守るための医療宣撫として始まった。

『母国遊説報告』

満洲医大の巡廻診療は、植民都市の奉天から地方へ近代医療の恩恵をもたらす文化的事業として、満鉄の植民地経営の中に位置づけられる。広島・大阪・京都・東京・仙台・新潟・金沢・福岡・熊本の 9 都市で講演会を実施。
本書はその 25 日間の遊説の記録。



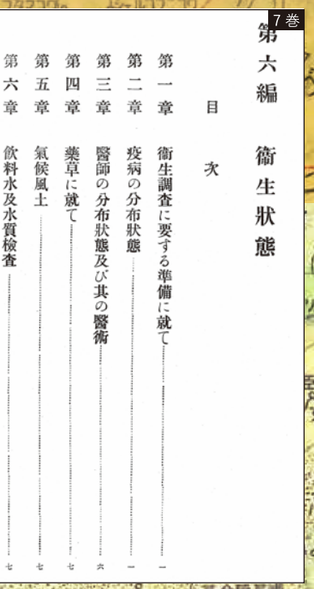


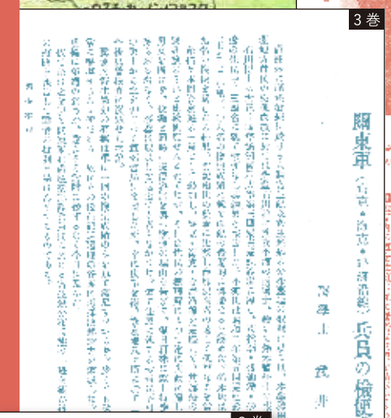
「昭和十三年度満洲医科大学学部及専門部学生生徒勤労奉仕作業報告」

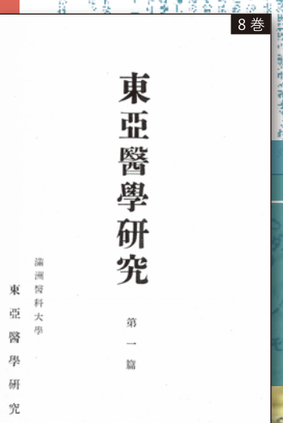
植民地都市の細民の研究では、満洲における社会医学調査はあまり知られておらず、その点で本書は貴重である。
満洲医科大学開拓医学研究所は、開拓地の調査研究と開拓民への保健指導を主たる目的として設立。その背景には、開拓民の保健対策を推し進める満洲開拓政策の急展開があった。

『大陸衛生』

1938 年 6 月、東京帝国大学医学部の学生有志によりに発足し、満洲各地の満洲開拓青年義勇隊訓練所に配属。診療、体格検査、感染症予防の指導を行った。その調査報告には、訓練所における衛生の不備を指摘する記述が多く、医学生の率直な問題意識が示されている。満洲の三河地方においてロシア人農村の調査を実施した。
このロシア人農民の暮し方は、日本人の満洲定住を推進する開拓政策において、寒冷地適応のモデルとして注目。「昭和十五年夏期渡満支報告」が特集され、興亜学生勤労報国隊に参加した学生の体験記が掲載少年義勇隊訓練所に分散して宿泊し、生徒の衣食住に関する調査、身体検査、診療、心理調査などを行った詳細な調査報告書。
ふたたび三河地方のロシア人村で冬季の調査を行った。







満洲に於ける地方病の調査研究は、
遠く蒙古地方にも広げられていった。
派遣団は現地住民に医学の恩恵を施すと共に
種々の医学調査が行われた。
近代医学の恩恵に浴さぬ現地住民に
日本内地の医科大学は見られない、
満洲医科大学ならではの特徴。

漢方医学研究を目的とする満洲医科大学東亜医学研究所の紀要

満洲医科大学東亜研究所の前身は、1926 年に学内に創設された「中国医学研究室」。当時満洲における医療従事者の中で圧倒的多数を占めたのは漢方医であった。満洲の医事衛生を正確に認識するには、漢方医の実態調査こそ必要であると考えられた。吉林省・熱河省・哈爾賓市・奉天市における漢方医についての社会学的調査で、満洲に根付いていた漢方医の実態を記録した貴重な資料。

満洲医科大学関係年表

1911 年	南満医学堂開校・清国ペスト臨時防疫本部設置
1912 年	中華民国成立
1913 年	薬物学・久保田晴光教授着任
1914 年	第一次世界大戦
1918 年	奉天にコレラ猖獗
1922 年	南満医学堂は満洲医科大学に昇格
1923 年	第一回東蒙巡廻診療団派遣
1924 年	第二回東蒙巡廻診療団派遣・中国人学生生徒に限り男女共学制を発表す
1925 年	三浦運一教授着任・第三回東蒙巡廻診療団派遣
1926 年	黒田源次教授着任・中国医学研究室創設・第四回東蒙巡廻診療団派遣
1927 年	高森時雄教授着任・日本山東出兵・第五回東蒙巡廻診療団派遣
1929 年	第六回東蒙巡廻診療団派遣
1930 年	第七回東蒙巡廻診療団派遣
1931 年	第八回東蒙巡廻診療団派遣
1932 年	第九回東蒙巡廻診療団派遣
1933 年	第十回東蒙巡廻診療団派遣
1934 年	第十一回東蒙巡廻診療団派遣
1935 年	中国医学研究室を東亜医学研究所と改称・第十二回東蒙巡廻診療団派遣
1936 年	克山病調査委員会設立・第十三、十四回東蒙巡廻診療団派遣
1940 年	開拓医学研究所設立・学部二年生新京ペスト防疫に出動
1945 年	大学は中国に接収され瀋陽医学院となる

「わたしたち」を相対化 ＊現代社会・文化史資料 9＊

外地「いのち」の資料集（七）
—「満洲医科大学2」
附.東京帝大大陸衛生研究会

監修・解題—末永 恵子（福島県立医科大学）
造　　本—A5判・並製・総約3,850頁
揃　　価—243,500円（配本毎·別巻分売可）

戦争と医学・医療の営為に関する研究は、
多面的な考察と学際的広がりが求められる。

本資料集は医療史・歴史学・民俗学・人類学の
研究にも広く有効。

本書は、四編の資料と
附録により構成。
満洲大陸の医学における
研究動員の具体像を伝える。

【第1回配本】2023年7月　配本揃価45,000円　ISBN978-4-910998-21-3

【第一編 巡回診療報告書】

一巻（424頁）
- 『東蒙巡廻診療報告 第一回』（満鉄衛生課、1923年）
- 『東蒙巡廻診療報告 第二回』（同上、1924年）
- 『東蒙巡廻診療報告 第三回』（満洲医科大学診療団、1925年）
- 『蒙古巡廻診療報告 第四回』（同上、1927年）

二巻（372頁）
- 『蒙古巡廻診療報告 第五回（第一班）』（満洲医科大学巡廻診療団、1927年）
- 『蒙古巡廻診療報告 第五回（第二班）』（同上、1927年）
- 『南満巡廻診療報告 第六回』（同上、1929年）
- 『東蒙古巡廻診療報告 第七回』（同上、1930年）
- 『蒙古診療記 第八回』（満洲医科大学診療団、1931年）

【第2回配本】2024年1月　配本揃価66,500円　ISBN978-4-910998-22-0

三巻（250頁）
- 『蒙古診療記　第九回（第二班）』（満洲医科大学、1933年）
- 『巡廻診療記　第十回』（満洲医科大学、1933年）
- 満洲医科大学巡回診療団熱河地方病研究団高森班「満洲医科大学熱河地方病研究竝第十一回巡回診療報告 一～十一」『最新治療』（1934年11月号、1935年1月～10月号）

四巻（348頁）
- 『巡廻診療記　第十二回』（満洲医科大学、1935年）
- 『巡廻診療記　第十三回』（満洲医科大学　1936年）
- 「満洲国龍江省克山地方診療調査報告書」『満鮮の医界』第205･207号（1938年）

【第二編 教育および啓発活動】

五巻（298頁）
- 『満洲醫科大學便覧』（満洲医科大学、1924年4月）
- 『満洲医科大学学術講演会講演集』（同上、1934年）
- 『満洲医科大学学術講演会講演集』（同上、1935年）
- 『母國遊説報告』（満州医科大学弁論部、1938年7月）

別冊（約50頁）価格1,500円（別冊のみ分売可）ISBN978-4-910998-20-6
- 解題、総目次細目、執筆者名索引、発行年月一覧表

【第3回配本】2024年7月　配本揃価68,000円　ISBN978-4-910998-23-7

六巻（342頁）
- 『滿洲保健讀本』目次以前の頁・奥付／前編全文／後編、特集　一部タイトルの本文（滿洲電信電話株式會社總務部保健班、1943年10月）

【第三編 調査研究】

七巻（348頁）
- 『洮南滿洲里間蒙古調査報告書(第一班)』（南満洲鐵道株式會社庶務部調査課、1926年6月）
- 『満蒙地方病 宿題報告　高森時雄　第33回～宿題報告』（1937年6月）
- 『満洲地方病調査依託研究報告』（満州國民生部厚生司、1942年）
- 『奉天市南市場及北市場満人生活状態の社会医学的調査』（満洲医科大学、1941年2月）
- 『満洲医科大学開拓医学研究所々報　第1号』（満洲醫科大學開拓醫學研究所、1941年7月）

八巻（410頁）
- 『満洲医科大学開拓医学研究所々報　第2号』（滿洲醫科大學開拓醫學研究所、1942年4月）
- 『東亜医学研究』第1篇・第2篇・第3篇（満州医科大学東亜医学研究所、1937年4月・1939年6月・1944年12月）

【第4回配本】2025年1月　配本揃価64,000円　ISBN978-4-910998-24-4

【第四編 業績集】

九巻（270頁）
- 『満洲医科大学業績集』第1輯～第3輯（満洲医科大学、1940年～41年）

【附録 東京帝国大学医学部大陸衛生研究会関係資料】

十巻（418頁）
- 『大陸衛生』〔2巻〕3号（東京帝国大学医学部鉄門大陸衛生研究会、1940年4月）
- 「三河地方調査報告—冬期」『大陸衛生』第2巻4号（同上、1940年7月）

十一巻（304頁）
- 『大陸衛生』3巻5号（東京帝国大学医学部鉄門大陸衛生研究会、1941年6月）
- 『三河露農調査』（満洲国立開拓研究所、1941年12月）

推薦—鈴木 晃仁（東京大学）、高岡 裕之（関西学院大学）
『外地「いのち」の資料集』シリーズ のご案内

外地「いのち」の資料集（一）
—「朝鮮総督府医院年報」附.「朝鮮医育史」
● 編・解題 愼 蒼健　揃価 88,000円【全五・別巻】

外地「いのち」の資料集（二）—満洲医科大学
● 編・解題 末永 恵子　揃価 58,000円【全四・別巻】

外地「いのち」の資料集（三）
—満洲・朝鮮・台湾の感染症　ペスト・コレラの記録
● 編 金沢文圃閣編集部　揃価 98,000円【全八・別巻】

外地「いのち」の資料集（四）—「台湾総督府医院年報」
● 編・解題 鈴木 哲造　揃価 80,000円【全六巻・別冊】

外地「いのち」の資料集（五）—「中国占領地　同仁会」
● 監修・解題 末永 恵子　揃価 148,000円【全九・別巻】

外地「いのち」の資料集（六）—「中国占領地　同仁会2」
● 監修・解題 末永 恵子　揃価 258,000円【全十四・別冊】

『岩手の保健』大牟羅良生誕100周年記念復刻
● 解説 北河 賢三　揃価 255,000円【全十四巻・別冊】

Kanazawa Bumpokaku
金沢文圃閣
〒920-0867 金沢市長土塀2-16-30
Tel 076-261-8884　Fax 233-3111

□書店様へ…ありがとうございます　直接小閣までお申し込みください
※図版は本書より〔一部原紙より編集・加工〕　価格は税別　054／10／2000